

カット原画 『読売新聞日曜版』1997年11月2日掲載

# 清川泰次 雑誌、 書籍、 新聞の仕事

2024年9月28日|土|～2025年3月9日|日|

開館時間: 10:00～18:00 (入館は17:30まで)

休館日: 毎週月曜日 (ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)

年末年始 (2024年12月29日～2025年1月3日)

10月14日 (月・祝)、11月4日 (月・振休)、1月13日 (月・祝)、2月24日 (月・振休) は開館、

10月15日 (火)、11月5日 (火)、1月14日 (火)、2月25日 (火) は休館

観覧料: 一般 200円 (160円)、大高生 150円 (120円)、65歳以上 / 中小生 100円 (80円)

\* 障害者の方は100円 (80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者 (当該障害者1名につき1名) は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。

\* ( ) 内は20名以上の団体料金

\* 世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日は無料

世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17

TEL.03-3416-1202 <http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

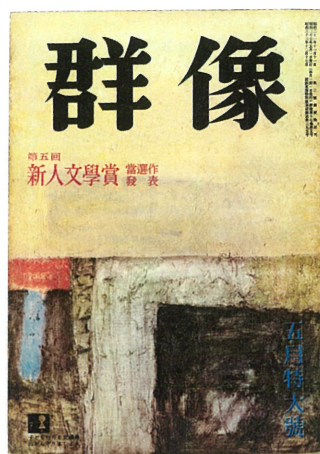


# 清川泰次 雑誌、 書籍、 新聞の仕事

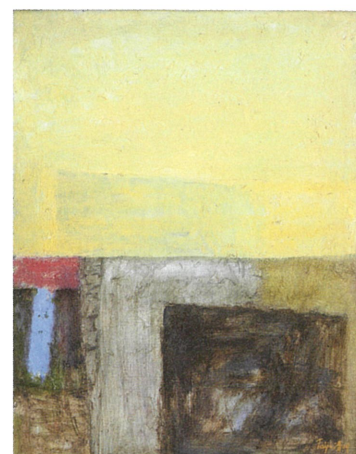
対象の姿を描くことにとられない独自の抽象表現を追求した、画家・清川泰次(1919-2000)。清川は画家として活動するかたわら、雑誌や書籍、新聞などの仕事にも携わりました。

1962年から63年には、月刊文芸誌『群像』(講談社)の表紙に、油絵具を用いた色彩豊かな面や線による抽象画を提供しました。また、1983年から95年には、住まいと日本文化をテーマとするエッセイや写真を収録した『住まいの文化誌』シリーズ(ミサワホーム総合研究所)の装幀を手掛けています。直線や曲線がのびやかに配置されたデザインには、清川が1970年代から80年代に絵画制作の中心に据えていた、線の構成をめぐる探求の一端がうかがえます。さらに1996年から98年には、『読売新聞日曜版』で102回にわたり連載された、阿刀田高によるミステリー小説を題材としたエッセイ「ミステリー 光と影」に、カットを寄せています。この頃、清川は、アクリル絵具を用いて鮮やかな色が響き合うような作品を制作していましたが、カット原画では、さらに色鉛筆、クレヨン、ボールペンなどが用いられ、カンヴァスに描かれた絵画とはまた異なる表現をみることができます。

本展では、印刷物にかかわるこれらの仕事を、絵画作品とあわせて展覧します。『読売新聞』のカット原画は、当館でご紹介する初の機会となります。それぞれの時期に、それぞれの媒体で織りなされた表現のゆたかな展開をお楽しみください。



1 『群像』1962年5月特大号、講談社



2 《群像表紙》1962年



3 『読売新聞日曜版』1998年3月29日  
連載「ミステリー 光と影」第93話  
(文・阿刀田高、画・清川泰次)



4 カット原画  
『読売新聞日曜版』1998年3月29日掲載



5

左:『住まいの文化誌 道具人間家屋』、  
ミサワホーム総合研究所、1988年  
右:『住まいの文化誌 趣味人間』、  
ミサワホーム総合研究所、1993年

世田谷美術館分館  
**清川泰次 記念ギャラリー**  
〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17  
TEL.03-3416-1202  
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>  
[交通案内] 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分

清川泰次記念ギャラリーは、成城の閑静な住宅街にあります。芝生が広がり、草花が咲く明るい庭と温かみのあるモダンな建築は、清川泰次のアトリエ兼住居を一部改装したもので、2003年に世田谷美術館の分館として開館しました。当館では清川泰次の作品を紹介するとともに、区民ギャラリーを併設し、区民の方々の創作活動を発表する場として、週単位でご利用いただいています。(展示予定はホームページをご覧ください)



© 京本和義

世田谷美術館分館  
**向井潤吉アトリエ館**  
〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1  
TEL.03-5450-9581  
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>



撮影:上野利宏

向井潤吉の心をとらえた 名もなき風景  
2024年9月28日(土)～2025年3月9日(日)

世田谷美術館分館  
**宮本三郎記念美術館**  
〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13  
TEL.03-5483-3836  
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>



© 京本和義

Journeys—宮本三郎 旅する絵画  
2024年9月28日(土)～2025年3月9日(日)



世田谷美術館  
〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2  
TEL.03-3415-6011(代表)  
<https://www.setagayamuseum.or.jp/>

同時開催展

企画展  
生誕130年記念 北川民次展—メキシコから日本へ  
東急 暮らしと街の文化  
世田谷美術館コレクション選 緑の惑星 セタビの森の植物たち  
ミュージアムコレクションI  
アートディレクターの仕事—大貫卓也と花森安治  
ミュージアムコレクションII  
かわりゆくもの、かわらないもの—TRANSITION  
ミュージアムコレクションIII  
1980年代のイギリス美術

9月21日(土)～11月17日(日)  
11月30日(土)～2025年2月2日(日)  
2025年2月27日(木)～4月13日(日)  
7月20日(土)～10月14日(月・祝)  
10月26日(土)～2025年1月13日(月・祝)  
2025年1月25日(土)～4月6日(日)

※ご入館に際しては感染症予防のため手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、他のお客様へのご配慮をお願いします。  
※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。

[展覧会のご案内]  
TEL.050-5541-8600 (ハローダイヤル)